



せんだんの本

令和6年11月1日 校長 各務 至

見えない部分に思いを馳せる

11月1日（金）に、なかよしフェスティバルがありました。これは、昨年度まで実施していたハイキング（畜産センター）から変更されたものです。紹介いたします。



この日は、ボーリングや新聞じゃんけん、風船バレーなど、子供たちのアイデアにあふれたブースが教室や体育館にたくさん並びました。ここに、1～6年生のなかよしグループごとで回り、楽しむことができました。次に、この楽しい時間の支えとなっていた動きを紹介します。スタンプ係の1年生。あいさつ係の2年生。得点記録係の3年生。当日までに看板を製作したおひさまと4年生。



そして、これを企画・運営した6年生。それを助けた5年生。自分たちの楽しみを後回しにして下学年の楽しみを大切にしたり、下学年の喜びを自分たちの喜びにしたりしていました。こうやって、みんながそれぞれの役割を果たしたことが、楽しい時間につながっていったのです。

子供たちには、このような互いの頑張りに気付き、目には見えない部分に思いを馳せ、温かく思う気持ちを大切にしてほしいのです。また、「今度は、自分があの先輩のように頑張りたいな。」などと、願いやあこがれを持ってほしいのです。

開会式（なかよしリーダー）

みんな仲良く楽しいフェスティバルにするために、優しい声かけや応援をしたり、自分の仕事に責任をもってやったりすることが大切です。



ゲーム説明！



セッティング・盛り上げ！



整列！



お知らせ！



反省会！

ふだんは、同じ学級の仲間と過ごすことがほとんどですが、このように、異なる学年の仲間との関わりから生まれる学びがあります。

教育活動の基準である学習指導要領には、特別活動-児童会活動の項目に、「児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。」とあります。また、内容としては、「学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。」とあり、具体的には、「(1) 児童会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力」が示されています。

少し難しい話になりましたが、このように、特別活動という枠組みを設けて、国語や算数といった教科では育みにくい力を伸ばしていこうとするねらいがあります。

ご家庭でも話題にしていただけましたら幸いです。

タブレットで混雑情報を共有！

会場図やプログラムを作成して迷いなし！

